

第12回

情報システム学会 シンポジウム

『人間・インテリジェンス・AI: 情報システムが社会と企業における 問題を解決する』

2019年5月25日(土) 13:30~17:00

専修大学 神田キャンパス
5号館(7階) 571教室
東京都千代田区神田神保町3-8

17:00-19:00 情報交換会
ポルトノアール (専修大学3号館B1)

★参加費★

シンポジウム	当学会会員・学生 (学生証をお持ちください)	無料
	非会員	¥4,000 (情報交換会費含む)
情報交換会	会員・学生	¥4,000

第1部 13:35~15:00



『AI社会実装における要件とAI 技術の擦り合わせ』

講師：山口高平氏

慶応義塾大学理工学部管理工学科教授・人工知能ビッグデー
タ研究開発センター長、放送大学客員教授、人工知能学会顧問

第2部 15:20~16:50



『通信理論から情報理論そして AIですか』

講師：菅澤喜男氏

日本コンペティティブ・インテリジェンス協会名誉会長、
元日本大学大学院教授

『AI社会実装における要件とAI技術の擦り合わせ』

講演概要：

現在、機械学習・ディープラーニングの応用中心に、第3次AIブームを迎え、AI社会実装が増えている。しかしながら、エンドユーザからのAI社会実装への期待・要件が曖昧なことから、AI技術の擦り合わせが不十分となり、効果が得られないケースも増えている。
本講演では、事例を交え、AI社会実装における要件とAI技術の擦り合わせについて考察する。

『通信理論から情報理論そしてAIですか』

講演概要：

情報理論(Information Theory)という言葉は、1948年に米国人のシャノン(Claude E. Shannon)がBell System Technical Journalで発表した論文の中で使った言葉です。それまでは曖昧な概念であった情報(Information)を定量的に扱うように定義し、「A Mathematical Theory of Communication」の中で用いられたものです。シャノンが言う情報とは何か。AIのIは情報(Information)ではなく、なぜインテリジェンス(Intelligence)なのか。

◆参加申込み◆

会場準備の都合上、**5月15日(水)**までに事務局 issj-office@issj.net までメールでお申込ください。

◆記載内容◆

- ①参加者氏名・所属・連絡先
- ②参加区分： 会員 非会員 学生
- ③会員番号：
- ④シンポジウム： 出席する, 出席しない
- ⑤情報交換会： 出席する, 出席しない

◆参加費は下記口座に**5月22日(水)**までに、お振込願います。

お振込先 (次のいずれかをお願いします)

- ・三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店
普通預金 0087521
- ・みずほ銀行 九段支店
普通預金 1714392
- ・ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号
00180-7-300365

※口座名義・加入者名

(シヤ) ジョウハウシステムガッカイ



交通案内

- ・水道橋駅 (JR) 西口より徒歩7分
- ・九段下駅 (地下鉄/東西線、都営新宿線、半蔵門線) 出口5より徒歩3分
- ・神保町駅 (地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線) 出口A2より徒歩3分